



第46期 中間報告書

平成26年4月1日～平成26年9月30日

三協フロンテア株式会社

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第46期中間（平成26年4月1日～平成26年9月
30日）報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（当上期）における日本経済は、企業収益の回復を受け、株式市場が好調に推移し、設備投資も増加するなど、緩やかな回復基調が見られました。その一方で、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動によって個人消費が落ち込み、景況感は足踏み状態となっています。

ユニットハウス業界は、公共投資の堅調な推移や建設工事の増加などにより、需要の拡大傾向が続いています。しかし一方で、建設現場の労働者不足が顕在化して社会

問題となっており、先行きは楽観視できない状況です。その労働者不足の問題を解消していく上で、工場内で製品の大部分を製造するユニット工法が貢献できると考えています。

このような事業環境のもと、当社グループは生産および物流拠点の設備拡充を進めることで、需要増加に対応できる体制を整えてきました。また、展示販売場やトランクルーム等の店舗ネットワーク拡充についても、計画通り取り組みを続けています。

当社のポリシーである「必要な時に必要な空間を必要な設備とともに提供する」を実践することで、当社のユニットハウスは、従来の仮設建設市場のみならず、ここ数年来開拓を続けてきた本建築市場、不動産市場においてもその優位性を十分発揮できるものと確信しています。“建築の完全なる工業化”という当社のコア技術をさらに高めていくことにより、新たな市場の開拓を図っていく所存です。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指し、失敗を恐れず情熱をもって活動していきます。

当上期の業績について

ユニットハウスのレンタルは、前期に引き続き、公共投資予算の増加に加え、民間の設備投資の増加により、全国的に出荷が好調に推移しました。また、エアコンシステムや電気設備・配線をユニットハウスと一体化した配電システムによって、ユニットハウスの付加価値を高め、引き続き受注拡大に努めました。トランクルームは、新たに23店舗出店するなど売上拡大を図りました。

ユニットハウスの販売においては、新規展示場の出店による拡販を図るとともに、既存店舗のリニューアルを積極的に行うことで販売チャネルの拡充に努めました。

上記の結果、当上期の連結売上高は14,286百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

利益面においては、営業利益1,976百万円（前年同期比33.9%増）、経常利益1,942百万円（前年同期比35.3%増）、四半期純利益1,075百万円（前年同期比43.4%増）になりました。

なお、レンタル資産の増強を行った結果、当上期における総資産は、前期末に対し2,483百万円増加し50,227百万円となりました。また純資産の合計額は、前期末に対し732百万円増加し22,152百万円となりました。

当社は、今後ともリユース可能なユニットハウスの特長を活かし、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導・鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

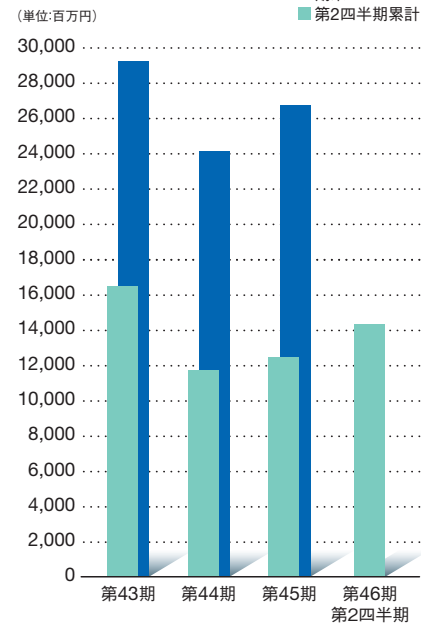
平成26年12月

代表取締役社長 長妻貴嗣

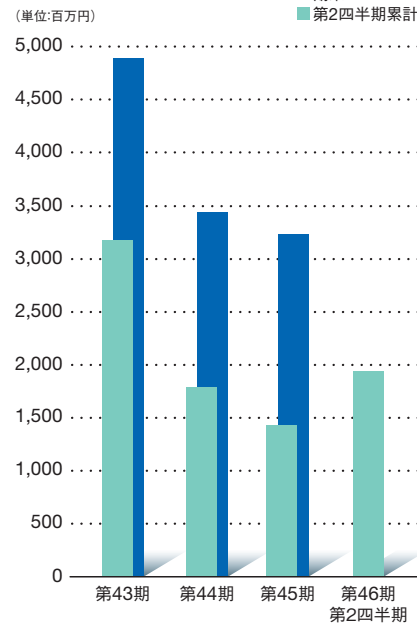
業績ハイライト

区分 \ 期別	第43期 (平成24年3月期)	第44期 (平成25年3月期)	第45期第2四半期 (平成26年3月期)	第45期 (平成26年3月期)	第46期第2四半期 (平成27年3月期)
売上高(百万円)	29,234	24,095	12,467	26,747	14,286
経常利益(百万円)	4,907	3,438	1,435	3,244	1,942
当期純利益(百万円)	2,469	2,069	749	2,051	1,075
1株当たり当期純利益(円)	111.70	92.82	33.73	92.28	48.37
総資産(百万円)	35,312	40,300	43,615	47,743	50,227
純資産(百万円)	18,717	20,040	20,506	21,419	22,152

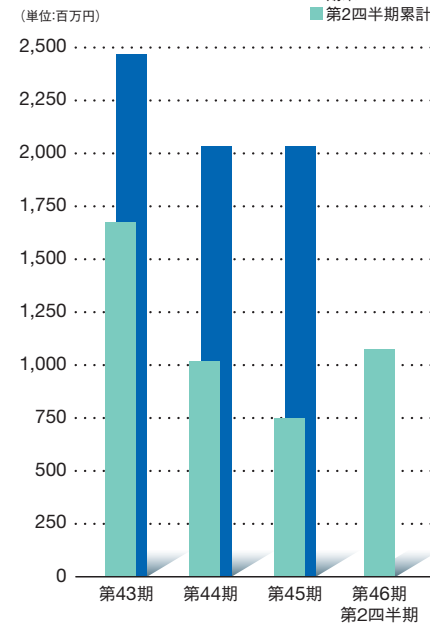
売上高の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



免責条項
本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能
建設現場からイベント、仮設住宅まで。
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、建設着工高増加の影響もあって、前期に引き続き各地で出荷が好調に推移しました。当社はユニットハウス本体だけでなく、空調や電気といった設備システムの付帯受注の強化により、受注拡大に努めました。

これらの結果、当期のレンタル料収入は8,847百万円(前年同期比23.9%増)となりました。

今後も、建設現場向けのシェア拡大とともに新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業を強化していきます。



建設現場事務所



飯店舗

ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

ユニットハウスの販売は、前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図る一方で、事務所のリニューアルや店舗の移転を積極的に推進するなど、より一層の収益力の向上を目指しました。

これらの結果、販売売上高は5,154百万円(前年同期比2.3%増)となりました。

今後も市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、引き続き展示販売の強化や販路の拡大を推進していきます。



薬局(外観)



薬局(内観)

Topic 1 マンスリーアパート事業を開始

当社は、2014年10月1日に気仙沼東新城マンスリーアパートをオープンさせました。本事業は、気仙沼地域で不足している「居住空間」を提供するとともに、当社にとっては不動産の賃貸運営という新たな事業形態へのチャレンジです。

本施設は、2階建て、全12室、ワンルームのマンスリーアパートです。宮城県気仙沼市東新城の閑静な住宅街に位置し、商業施設へもアクセスしやすい立地です。

全室約5畳の個室で、家具・家電・冷暖房などを完備し、入居後すぐに生活ができます。一括借り上げや入居者の入れ替え需要にも対応できるよう法人向けのマンスリー契約で運営し、主に公共事業などの建設工事従事者や復興支援関係者を対象として募集しています。事務手続きがしやすい水道・光熱費も含めた家賃設定も特長の一つです。好評を得て満室に近い状態でのスタートとなり、オープン後も多くの問い合わせをいただいています。

建設にあたっては、当社の技術力を駆使し、工場内で外装・内装・設備工事を完了させる「建築の工業化」を実現しています。これにより、現地での建て方工事は2日間という超スピード施工を実現。「建物は動かせない」という常識を打ち破った、当社の製品コンセプトである「MOBILE SPACE」を実証しています。



外観



室内①



室内②

Topic 2 全国に展示場122店舗、トランクルーム216店舗を展開

当社は、平成26年9月30日現在、ユニットハウスを販売する展示場を122店舗、トランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを216店舗、計338店舗を全国展開しています。当上期、新たにオープンした26店舗の中から木津川出張所をご紹介します。

木津川出張所

2014年6月、京都府の第1号店として木津川出張所をオープンしました。京都と奈良を結ぶ主要幹線の国道24号線沿いに位置し、敷地面積2,000㎡の総合展示場として、最新製品などさまざまなお客様のニーズに対応できる製品を取り揃えるとともに、自社製品である「QUO2階建」のショールームともなっています。その他、電気・空調・給排水などの設備をすべて組み込んだ新製品「e-Package」や、新棟、中古ハウス、倉庫など多種多様なハウスを常時20棟以上展示しています。すでに多くのお客様にご来場いただき、引き続き、お客様にご満足いただける展示場づくりに取り組んでいきます。また、敷地内には17室のトランクルームも併設しており、地域の皆様から好評をいただいています。



案内図



木津川出張所



商談スペース

Topic 3 植物工場展に当社の植物工場を出展

当社は、2014年7月23日～25日、東京ビッグサイトの施設園芸・植物工場展（GPEC）に植物工場を出展しました。

当社の得意とするユニットハウスに、空調・電気設備・養液循環など環境制御の機能を加えた小型植物工場および小型の野菜栽培ショーケースは、会期中、多くの方々にご覧いただきました。植物工場の資材メーカーや植物工場を取り扱う企業が多数集まる中、当社の「植物工場のレンタル」に非常に興味を持っていただくことができました。

今後も、空調、電気、給排水等の設備を必要とする植物工場の開発を通じて環境制御技術の向上に貢献していきます。



連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	第46期第2四半期 (平成26年9月30日)	第45期 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産	11,991,946	11,522,023
現金及び預金	2,080,585	2,532,318
受取手形	1,031,585	889,318
営業未収入金	4,161,308	3,511,119
売掛金	967,895	1,341,478
棚卸資産	3,185,522	2,787,205
その他	588,596	485,189
貸倒引当金	△ 23,548	△ 24,605
固定資産	38,235,305	36,221,951
有形固定資産	37,120,100	35,137,945
レンタル資産	20,215,422	18,668,982
建物	3,550,640	3,606,617
土地	9,392,337	9,275,025
その他	3,961,698	3,587,321
無形固定資産	227,587	237,489
投資その他の資産	887,618	846,516
資産合計	50,227,252	47,743,975

(単位:千円)

	第46期第2四半期 (平成26年9月30日)	第45期末 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債	16,702,747	13,174,589
支払手形	277,556	204,674
買掛金	4,750,918	5,281,541
短期借入金	5,234,796	1,727,996
未払費用	3,029,952	2,615,654
未払法人税等	925,443	803,170
賞与引当金	377,759	349,413
その他	2,106,320	2,192,141
固定負債	11,372,440	13,149,804
長期借入金	8,392,342	10,441,340
役員退職慰労引当金	191,866	186,591
退職給付に係る負債	763,300	731,538
その他	2,024,929	1,790,335
負債合計	28,075,188	26,324,393
純資産の部		
株主資本	22,165,701	21,426,499
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,776,663	2,776,663
利益剰余金	18,152,834	17,413,073
自己株式	△ 309,246	△ 308,687
その他の包括利益累計額	△ 13,637	△ 6,918
その他有価証券評価差額金	7,200	4,834
為替換算調整勘定	53,374	73,213
退職給付に係る調整累計額	△ 74,212	△ 84,966
純資産合計	22,152,064	21,419,581
負債純資産合計	50,227,252	47,743,975

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	第46期第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	第45期第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	14,286,876	12,467,766
売上原価	8,448,588	7,425,482
売上総利益	5,838,288	5,042,283
販売費及び一般管理費	3,861,440	3,565,936
営業利益	1,976,847	1,476,346
営業外収益	55,996	43,039
営業外費用	90,691	83,662
経常利益	1,942,152	1,435,724
特別損失	15,574	6,146
税金等調整前四半期純利益	1,926,578	1,429,577
法人税等	851,132	679,669
少数株主損益調整前四半期純利益	1,075,445	749,908
四半期純利益	1,075,445	749,908

四半期連結包括利益計算書

(単位:千円)

	第46期第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	第45期第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,075,445	749,908
その他の包括利益	△ 6,719	49,966
四半期包括利益	1,068,726	799,875

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

	第46期第2四半期 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	第45期第2四半期 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,233,695	△ 1,513,835
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 526,415	△ 1,779,520
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,314,656	2,499,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 6,277	14,158
現金及び現金同等物の増減額	△ 451,732	△ 779,865
現金及び現金同等物の期首残高	2,352,318	2,145,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,900,585	1,365,434

企業の概要 (平成26年9月30日現在)

商号	三協フロンティア株式会社	
本社所在地	〒277-8539 千葉県柏市新十余二5番地	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小島 豊
	取締役執行役員	藤田 剛
	常勤監査役	村井 康之
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-26)第18154号
 一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-1204-1483号

株式の状況 (平成26年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,466名 (平成26年3月末比46名減)

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	11,233	48.09
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	648	2.77
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	350	1.49
三協フロンティア従業員持株会	327	1.40
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.85
(株)千葉銀行	195	0.83
メロンバンクTREEティー クライアーツオムニバス	192	0.82
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.69

※当社は自己株式を1,125千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告(URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
東京証券取引所JASDAQ市場

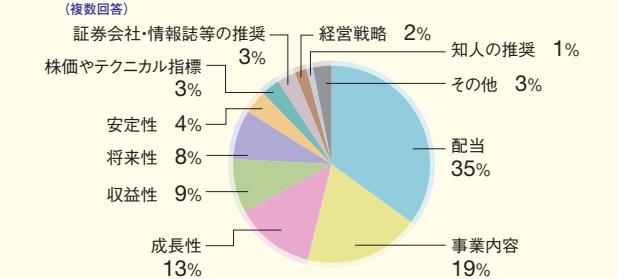
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

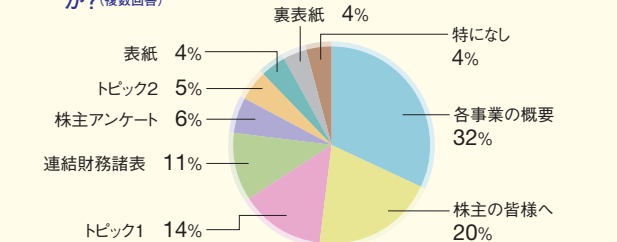
アンケート結果のご報告

「第45期 年次報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。163名の株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動の参考にしてまいります。

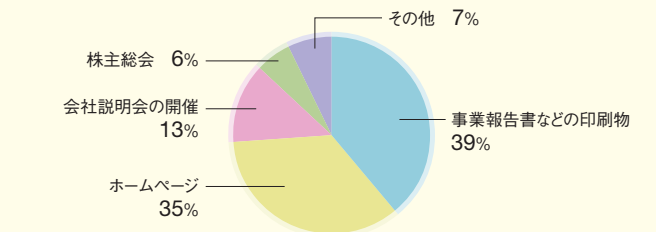
Q1 当社の株式を購入された理由をお聞かせください。



Q2 事業報告書の内容で最も興味深かった内容は何ですか? (複数回答)



Q3 今後、当社のIR活動について、充実してほしいことをお聞かせ下さい。



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>

日本の職人不足に、



三協フロンテアのモバイルスペース。

工場で作って、現場で
組み立てるだけ。だから、
少人数・高速施工ができる。

深刻化する職人不足。その影響は今、納期の遅れや人件費の高騰から、施工クオリティの低下にまで及んでいます。三協フロンテアのユニットハウス＝**MOBILE SPACE**は、電気、空調、給排水などの設備をすべて組み込んで移動できる、新しい工業化建築。空間を縦横につなげてフレキシブルに拡張することで、事務所や店舗から宿舍まで、あらゆる用途への利用が可能です。工場で作る安定品質の空間を、そのまま現場にお届けする。まさに、建設業界が抱える課題に、新たな角度から答えをだすプロダクトなのです。

空間が動く、世の中が動き出す。 **MOBILE SPACE** by 三協フロンテア